

# 2021年度 研究助成

助成対象期間 | 2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

食物アレルギーに関する  
問題解決を目指す  
研究者及び研究グループに対する  
助成事業です。

## 対象研究領域

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究（社会科学的な研究を含む）

上記領域はすべて重要ですが、

特に「①食物アレルギー対応食品に関する研究」や

「②食物アレルギーの予防に関する研究」の応募を歓迎いたします。

## 募集期間

2020年

7月10日金から  
9月30日水

消印有効

助成件数等  
助成区分及び

## 共同研究

上限600万円×5件 (予定)

●専門領域を異にする複数の研究者(※)が、同一テーマに関し、広範に共同研究する場合を対象にします。

※異分野、他機関との積極的な交流を期待しています。研究体制に食品科学の研究者が入り、医学、薬学、保健・栄養等、異分野かつ他機関が参加していることを歓迎いたします。

## 個人研究

上限200万円×15件 (予定)

●若手研究者(2021年4月1日時点で45歳以下)による単独研究を対象とします。

※2020年度実績：採択件数（共同研究：5件（採択率31%）、個人研究：18件（採択率82%））助成金総額約6,139万円

※両区分とも、提案が適切であれば、新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。

※その他にも応募条件等があります。詳細は必ず募集要項をご確認ください。



ニッポンハム  
食の未来財団

<https://www.miraizaidan.or.jp>



# 2020年度 研究助成採択課題 (助成対象期間：2020年4月1日から2021年3月31日)

## 共同研究助成：応募16件→採択5件 (採択率31%)

50音順、敬称略

	研究課題名	研究代表者	共同研究者
1	給食施設での調理時の小麦アレルゲン混入リスクに関する研究	三重短期大学 教授 橋本 博行	大阪健康安全基盤研究所 吉光 真人 農研機構 西日本農業研究センター 池田 達哉 大阪産業技術研究所 山内 朝夫
2	食物に対する経消化管感作の機序、特に IL-25 の役割の解明	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 部長 松本 健治	札幌医科大学医学部 病理学第一講座 助教 久保 輝文
3	小麦アレルギーの包括的ゲノム関連解析とT細胞エピトープの同定	筑波大学医学医療系 教授 野口 恵美子	藤田医科大学ばんたね病院総合アレルギー科 教授 矢上 晶子
4	主要アレルゲン Mal d 1 の日本産リンゴ品種における定量および経口負荷試験結果を基にした食事指導への展開	松本大学人間健康学部健康栄養学科 専任講師 沖嶋 直子	長野県立こども病院 アレルギー科 部長 小池 由美 小林耳鼻咽喉科医院 院長 小林 克彦 藤田医科大学医学部 小児科 教授 近藤 康人
5	食物アレルギーにおける免疫記憶の機序解明およびその制御法の開発	東京医科歯科大学難治疾患研究所 准教授 安達 貴弘	大阪大谷大学 教授 戸村 道夫 北海道大学 准教授 中村 公則 富山大学 教授 高雄 啓三

## 個人研究助成：応募22件→採択18件 (採択率82%)

50音順、敬称略

	研究課題名	研究代表者
1	消化管上皮細胞のタイトジャニクションの人為的強化法の開発	九州大学 大学院理学研究院 教授 池ノ内 順一
2	胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明	名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学 病院助教 野村 孝泰
3	Food protein induced enterocolitis syndrome の診断における血清 TARC 値の有用性に関する研究	杏林大学医学部附属病院 小児科学教室 助教 濱野 翔
4	コモンマーモセットを用いた食物アレルギーモデルの確立と前臨床評価系への応用	公益財団法人実験動物中央研究所 マーモセット医学生物学研究部 研究員 佐藤 賢哉
5	腸細菌 Flavonifractor plautii によるアレルギー予防メカニズムの解明	信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所 助教 萩田 佑
6	経皮感作食物アレルギーモデル確立と脂肪酸摂取によるアレルギー制御	広島大学大学院医科系科学研究科免疫学 大学院生 河原 隆浩
7	少量経口負荷試験による食物アレルギー児の保護者の不安軽減効果の検討	自治医科大学附属さいたま医療センター小児科 助教 牧田 英士
8	食物アレルギーにおける経皮感作と経口免疫寛容のバランスの解明	琉球大学大学院医学研究科薬理学講座 准教授 山下 弘高
9	重症果物アレルギーの感作機序に関する研究	藤田医科大学 ばんたね病院 小児科 助教 森 雄司
10	温度感受性 TRPV4 チャネル制御による食物アレルギー予防方法の検討	京都薬科大学 准教授 松本 健次郎
11	重症消化管アレルギーの病態解明	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 室長 森田 英明
12	メイラード反応が魚肉アレルゲンの消化・吸収性に及ぼす影響の解明	北海道大学大学院 水産科学研究院 技術専門職員 清水 裕
13	乳児期のビタミン D 投与によるアレルギー予防に関する研究開発	千葉大学医学部附属病院小児科 助教 中野 泰至
14	腸内細菌由来の代謝物による経口免疫寛容誘導機構の解析	静岡県立大学薬学部 免疫微生物学教室 教授 梅本 英司
15	制御性 T 細胞の分化制御に関わる核内受容体に作用する食品由来成分の探索と有効性解析	島根大学医学部医学科 免疫学講座 講師 小谷 仁司
16	食物アレルギー予防を目指した食品成分による腸内環境制御法の開発	京都府立医科大学 消化器内科学 助教 春里 晓人
17	複数の重症食物アレルギーを有する児に対する同時緩徐微量経口免疫療法 Simultaneously slow low dose oral immunotherapy: SSLOIT (wSLOIT)	あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 医長 杉浦 至郎
18	小麦アレルギー経口免疫療法における維持期の摂取回数と耐性獲得との関係	昭和大学医学部小児科学講座 講師 岡田 祐樹



ニッポンハム  
食の未来財団

当財団のWebサイトから研究課題概要をご覧いただくことができます。  
[https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2019/02\\_result.html](https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2019/02_result.html)  
 電話：029-893-4466 E-mail : info@miraizaidan.or.jp